

高等学校

教科【商業】

単元【情報処理：ビジネス情報の処理と分析】

主体的・対話的で
深い学びのポイント

生徒が必要な情報を主体的に「収集」、「整理・分析」を行うとともに、他者と対話をしながら「まとめ・表現」を行うことにより、学びを深める。

ICT活用のポイント

インターネットを用いて必要な情報を収集するとともに、表計算ソフトウェアの機能によりデータを科学的に分析して、プレゼンテーションソフトウェアを活用しながら自らの考えを表現する。

使用する
ICT機器

PC、タブレット

使用するアプリ・
クラウドサービス等Googleアプリ (Classroom、ドキュメント、
スライド、フォーム)、Excelクラウド
の活用教材の配布・回収等
生徒の学習状況の把握資料等の共有
その他 (意見交流)本時の
ねらい

- ・課題解決に必要な情報をインターネット上から収集し、表計算ソフトウェアで整理・分析することができる。
- ・資料をまとめ、プレゼンテーションソフトウェアを活用して、自らの考えを表現することができる。

主な学習活動
(学習場面)

ICTの活用・留意点等

評価

導入

- 各種まとめ様式
の確認する

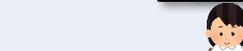


- 目標及び共有資
料を確認する

一斉

- 仮説を設定する

個別



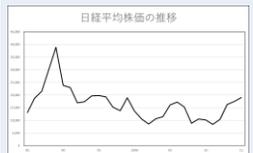
- ・ Google Classroomより様式 (グループのまとめ) を確認する。

指針2

- ・ Google Classroomより年別の「日経平均株価の変動」グラフを確認する。

クラウド

- ・ 提示された共有資料をもとに株価変動の要因について、仮説を設定する。



展開

- データ収集及び
整理・分析する

個別



- グループ内で交
流する



- 成果物をまとめ
る



- 他のグループと
成果物を共有す
る

- 株価変動の要因
を考察する

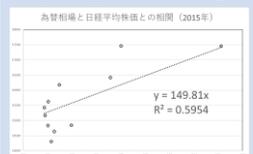
- ・ 調査したい年の月ごとの株価を収集し (CSVファイルがダウンロードできるサイトもある。)、Excelによりグラフ化を行うとともに、分析ツールを活用しデータを理解する。

ここで評価

(例) 箱ひげ図による株価変動を可視化

(例) 日経平均株価と為替相場の相関を可視化

【知】表計算ソフトを活用して、株価変動を理解するとともに、統計処理の技術を身に付けている。



指針4

- ・ 個別に作成したデータに基づいてグループごとに意見を交換する。その際、調査する年の経済動向が分かる資料を提示し、思考活動を促す。

- ・ グループのまとめをGoogleスライドを用いて同時編集する。その際、株価が変動する要因を資料から発見し、科学的な根拠を用いて、経済社会や企業活動との相関を考察する。

ここで評価

- ・ Google Classroomを利用し、他のグループの成果物を閲覧する。

クラウド

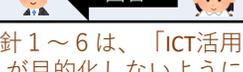
- ・ 他グループの成果物を参考に、自グループの成果物をブラッシュアップする。

指針4

【思】統計資料をもとに、適切な情報の集計・分析を行い、株価に関する情報を処理・分析することにより、課題を発見し、課題への対応を考察することができる。

終末

- 本時の振り返り



- ・ 仮説と分析を比較し、本時の振り返りを行うとともに、自己評価をGoogleフォームで回答する。

※ 表内の指針1～6は、「ICT活用授業指針」8ページにあるICT活用授業の目指す姿1～6を表しています。

※ ICTの導入が目的化しないように、ICTを活用する場面と活用しない場面を効果的に組み合わせることが重要です。

※ 評価の観点 【知】 = 知識・技能 【思】 = 思考・判断・表現 【態】 = 主体的に学習に取り組む態度